

2009年5月29日

高機能樹脂事業における事業交換の検討開始について

三菱化学株式会社
Royal DSM N.V.

三菱化学株式会社(本社:東京都港区、社長:小林 喜光、以下「三菱化学」)とRoyal DSM N.V.(本社:オランダ Heerlen 市、Chairman: Feike Sijbesma、以下「DSM」)は、DSM エンジニアリングプラスチック株式会社(本社:オランダ Sittard 市、President: Roelof Westerbeek、出資比率: DSM 100%、以下「DSM エンプラ」)が欧州を中心に展開しているポリカーボネート事業と三菱化学及び三菱エンジニアリングプラスチック株式会社(本社:東京都中央区、社長:喜嶋 安彦、出資比率: 三菱ガス化学株式会社50%/三菱化学50%、以下「三菱エンブラ」)が日本及びアジアを中心に展開しているナイロン事業について、更なる競争力の強化を目的とした事業の交換の検討に入ることにつき基本合意書を締結し、具体的検討に入りましたのでご連絡いたします。

DSM は、ナイロン事業を主力事業の1つと位置づけており、DSM エンプラが三菱化学及び三菱エンブラのナイロン事業を譲り受けることで、欧米だけでなく、アジア、とりわけ日本及び中国市場において、自動車、電気・電子、包装資材分野でのサービスと新規開発能力を向上させることによって、エンジニアリング樹脂用ナイロンにおける世界の2大メーカーとしての地位を確立することが期待されます。また、DSM は、昨年、既に中国で6ナイロンの生産を開始しております。

一方、三菱化学は、昨今の厳しい経済環境下、石油化学事業において事業構造改革と事業の選択と集中に積極的に取り組んでおりますが、その中で、ポリカーボネート事業は、自動車、情報電子等幅広い分野で使用され、将来的にも成長が期待されることから、集中事業の一つとして位置づけて、グローバル展開しております。DSM から事業を譲り受けることにより、DSM の付加価値の高いコンパウンド品を中心としたポリカーボネート事業を三菱化学及び三菱エンブラとして欧州及びアジアで展開することができ、更なる拡大を期待することができます。なお、この度譲渡することを検討している両社の事業規模は、それぞれ08年度で約120億円(9000万ユーロ)です。

また、本事業交換を実施した場合、製造においては、三菱化学及び三菱エンブラが、ディーエスエムジャパンエンジニアリングプラスチック株式会社(本社:東京都港区、社長: Leon Halders、出資比率: DSM エンプラ100%)よりナイロン樹脂及びそのコンパウンド製品の日本における生産を受託し、DSM エンプラが三菱化学及び三菱エンブラよりポリカーボネート樹脂コンパウンド品のベルギーにおける生産を受託するとともに、販売・技術サービスにおいても、継続的な相互協力関係を構築する予定であります。

今後は、年内に事業の交換を実行することを目標に、両社で具体的な検討を進めてまいります。

以上

<参考>

【DSM社概要】 売上高 93億ユーロ(約1.2兆円)
全社従業員数 23,500人

【問合せ先】

三菱化学株式会社 広報・IR室
連絡先: 03-6414-3753